

上半期の交通加害事故から見える課題と対策！

4月～9月までの管内小・中・義務教育学校教職員（臨時的任用職員を含む）による交通加害事故の発生件数は9件でした。昨年、一昨年の同時期に比べ、今年度は随分減っていることが分かります（表1）。各学校において、交通事故防止に向けた日々の取組が教職員一人一人の安全運転や危険運転に対する意識を高め、それが行動に現れてきている成果だと考えます。

しかし、8件の交通加害事故の状況を詳しく見ると、依然として20代の交通加害事故が最も多く、昨年、一昨年とほぼ変わりません。

また、「前方不注意・不確認」による事故がほとんどであり、いずれも未然に防ぐことができた事故だったと言えます（表2）。

表1 年齢別発生件数

年齢	R1	R2	R3
20代	6	5	5
30代	2	3	0
40代	4	3	2
50代	4	4	2
60代	0	1	0
合計	16	16	9

4月～9月までの期間

表2 交通加害事故の発生原因

発生原因	件数
前方不注意・不確認	6
後方不注意・不確認	3
左右不注意・不確認	0
居眠り運転	0
合計	9

4月～9月までの期間

〈加害者本人による事故原因について〉



子供たちに伝えるべきこと等を無意識のうちに考えていたのだと思います。気が付いたときには、ブレーキを踏んだものの間に合わず追突してしまいました。

お店に寄ろうと財布を探しながら走行し、前方の停車していた車に気付かず追突してしまいました。



そこで、【交通事故防止のポイント】を改めて確認していただくとともに、これから夕暮れも早くなってくるので、早めのライト点灯を心掛けていただくことで交通事故防止の徹底を図りましょう。

【交通事故防止のポイント】

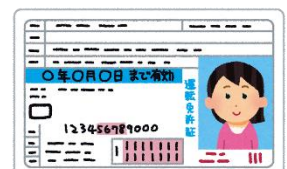
- 1 **車間距離**の十分な確保（走行中前の車と3秒・停車中前の車の後輪の接地面が十分見えるくらい）
- 2 交差点や駐車場で**安全確認**（2段階停止・目視による確実な安全確認）
- 3 **運転に集中**できるような工夫（荷物は後部座席に置く・適宜休憩をとる）



運転免許証と車検証の有効期限 更新後まで確認を！

今年度に入り、県内で交通事故を起こした教職員が車検切れの車に乗って運転し続けていたことが発覚しました。運転免許証や車検証の有効期限については、ほとんどの学校で年度当初に管理職によって把握をいただいています。

今後は、更新前の声掛けと更新後の確認まで確実にお願いします。



新型コロナウイルス感染症に係る教職員のサービスの取扱い

